PowerDVD 2000に関しては、CyberLink社までお問い合わせください。
●お問い合わせ先
ホームページ：http://www.cli.co.jp/
メールアドレス：support@cli.co.jp

インターネット環境をお持ちでない方は、本書内の必要事項をご記入もしくはご確認いただきCyberLink社までFAXまたはTELにてお問い合わせください。
FAX：03-3662-8009 TEL：03-3662-8076

もっと近くへ── More Communication
株式会社 アイ・オー・データ機器
本　　社：〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
ホームページ：http://www.iodata.co.jp/

●技術的なお問い合わせはサポートセンターへどうぞ●
本　社／TEL.076-260-3366　FAX.076-260-3360
東　京／TEL.03-3254-0301　FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9:30～19:00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）

I-O DATA　DVD-TX10T　取扱説明書

70924-01

I-O DATA

Ultra SCSI/SCSI-2対応 外付型
10倍速DVD-ROMドライブ + 40倍速CD-ROMドライブ

DVD-TX10T
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

INDEX・・・・・・・・・

1 ご使用になる前に 1
2 パソコンに取り付ける 2
3 取り付け後の設定 3
付録 付

70924-01

ご注意

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windows,WindowsNTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●Photo CDは米国Eastman Kodak Companyの商標です。
●Sound Blaster,Sound BlasterのロゴおよびCreativeのロゴはCreative Technology Ltd.の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

DVD-TX10T　取扱説明書

2000.　Jul.17　70924-01
発行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512　石川県金沢市桜田町24街区1

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので、
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVERシールをお貼りください。

必ずお守りください

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

⚠ 警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定されます。

禁止

本体をぬらさない。

火災・感電の恐れがあります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

禁止

本製品の上に乗らない。

倒れて、けがをする恐れがあります。

禁止

本製品の挿入口に手を入れない。

指をはさんで、けがをする恐れがあります。

禁止

音量を上げすぎない。

大きな音量で使用すると、聴力に悪影響を与える原因となる恐れがあります。

禁止

内部をのぞきこまない。

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害のみの発生が想定されます。

禁止

動作中は本製品を動かさない。

本製品の故障およびディスクの破損の原因となります。

禁止

本製品のターミネータ機能と外付けターミネータを同時に使用しない

本製品の故障の原因となります。

禁止

本製品を縦置きで設置する場合、8cmCDを使用しない

本製品の故障の原因となります。

厳守

本製品をパソコンに取り付ける前に、静電気を逃がしてください。

スチール製のキャビネットの金属部分などに触れて静電気を逃がしてください。静電気によって、本製品やパソコンの部品が壊れてしまう場合があります。

厳守

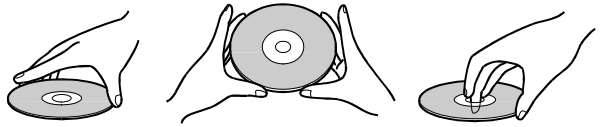
本体外部についた汚れなどを落とす場合、柔らかい布で乾拭きしてください。

本体内部に液体、金属などの異物が入ると、故障の原因となります。ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。また、市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。

その他の注意事項

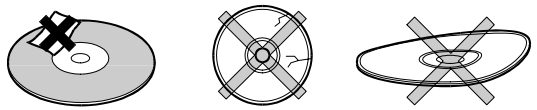
■ CD-ROM などのディスクについて

・ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



・指紋・油・ゴミなどを付けないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。

・ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



・熱を加えないでください。

・表面を傷つけないようにケースからの出し入れにはご注意ください。

・レーベル面にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、紙やシールなどを貼らないでください。

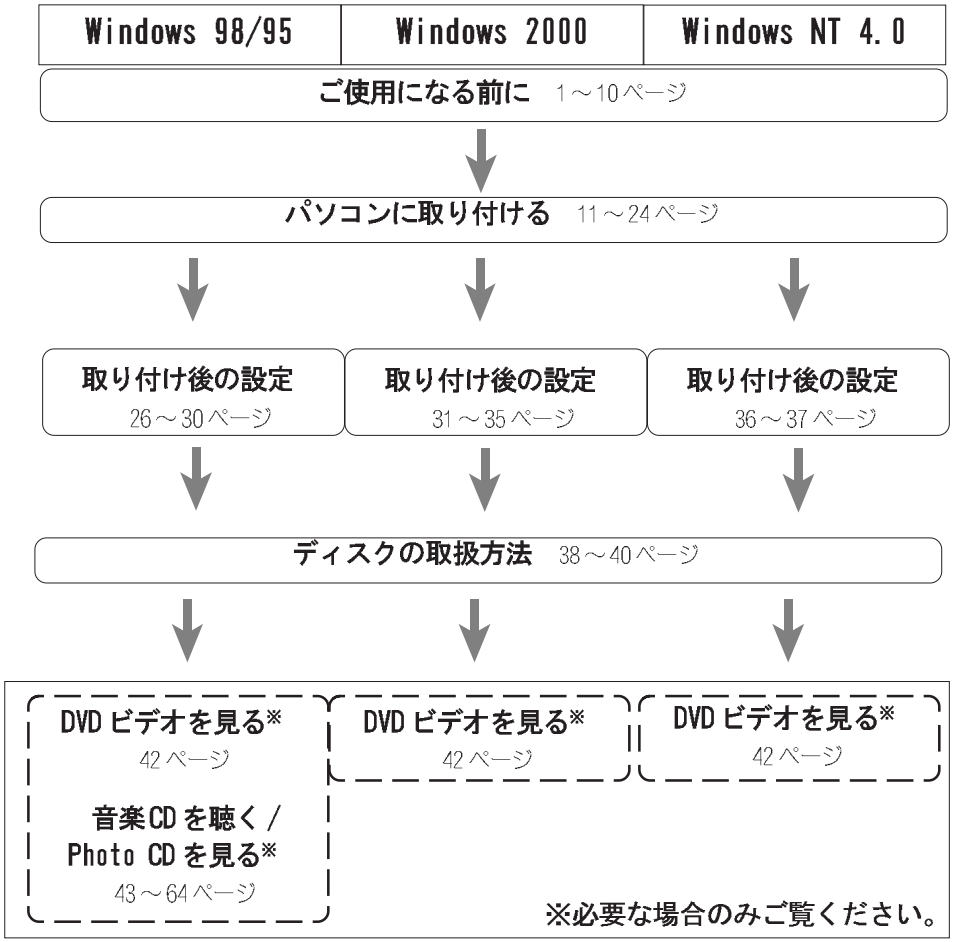
・寒い場所から急に暖かい場所に移すと、表面に水滴がついて動作しないことがあります。このときは、柔らかい布で水滴をふき取り、乾燥させてからご使用ください。なお、ドライヤーなどでは乾かさないでください。

・必ずケースなどにいれて保管してください。ただし、次のような場所には保管しないでください。

直射日光があたるところ
湿気、ほこりが多いところ
暖房機器などの熱があたるところ

はじめに

■ *ご使用のOSにより、以下の流れでお読みください。*



■ *本書での呼び方*

呼び方	意味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98/95	Windows 98およびWindows 95の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version4.0
Windows	Windows 98/95,Widnows 2000およびWindows NT 4.0の総称

■ *本書で使用しているアイコン*



操作上の注意点を説明しています。



操作する際のヒントを説明しています。



関連する項目が記載されているページを紹介しています。

特長

◆高性能10倍速（最大13,500KB/sec）DVD-ROMドライブ

CD-ROMドライブとしては最大40倍速（6,000KB/sec）
※お使いの環境により、データ転送速度は異なる場合があります。

◆DVD-ROM,DVDビデオ※に対応　（２層ディスクにも対応）

※ DVDビデオを再生するには、添付のソフトDVDプレーヤー『PowerDVD 2000』または弊社製DVDデコーダボード『GV-DVD2/PCI』が必要です。

◆オーディオキャプチャが可能

添付のCD Playerのオーディオキャプチャ機能を使用すれば、音楽CDからのオーディオキャプチャが可能です。（キャプチャ時間はお使いの環境により異なります。）

◆CD TEXT対応

本製品添付のCD Player(Windows 98/95専用)で市販のCD TEXT対応音楽CDを再生する際、CD TEXT情報を表示します。その他、Photo CD(マルチセッション),CD-DA（音楽CD），ビデオCD※,CD Extra[CD PLUS]にも対応しています。
※ビデオCDを再生するには、添付のソフトDVDプレーヤー『PowerDVD 2000』、または弊社製DVDデコーダボード『GV-DVD2/PCI』が必要です。

◆電動トレイ方式採用

電動トレイによるフロントローディング方式のイージーオペレーション。

◆8cm CD対応、音楽用シングルCDも再生可能

8cmCDアダプタは必要ありません。（縦置きでは使用できません。）

◆マルチリード対応

CD-RディスクやCD-RWディスクパケットライト記録済みのディスク※の読み込みが可能。
※DirectCD Ver.2以降のランダムアクセスライト記録済みディスクは、Adaptec社の「DirectCD UDF Reader」を使用すれば読むことができます。「DirectCD UDF Reader」の詳細に関しては以下を参照してください。
（http://www.adaptec.co.jp/download/index.html）

注意

DirectCDで書き込んだCD-RディスクやCD-RWディスクを本製品で読めるようにするには、DirectCD書き込み後の取り出し処理を行う際に「CD-ROMドライブで読み込めるようCDを構成します。」をチェックして取り出す必要があります。
ただし、DirectCD バージョン2.0以降でCD-RWディスクに書き込んだ場合は、上記の「DirectCD UDF Reader」のインストールも必要です。

◆ソフトウェアDVDプレーヤー「PowerDVD 2000」

※本製品には、DVDビデオは添付しておりません。

・パンスキャン機能搭載により、シネマスコープや、ビスタサイズのDVD映画をフル画面表示できますので、パソコンのディスプレイでも迫力のある再生ができます。

・右クリックするだけで起動する「エクスプレスメニュー」
見たいチャプターへ直接ジャンプ、スロー再生、戻し再生などの切り替えがワンタッチでできる便利な機能です。

・S/P DIF ドルビーデジタル出力機能搭載

・DVDビデオ/ビデオCDの画面を簡単キャプチャーオリジナルのフレームサイズを縮小/拡大なしにクリップボード、デスクトップまたはBMPファイルとして保存できます。

・新機能“iPower!”画面でリアルタイム情報受信！
PowerDVD 2000のオープニング画面が、そのまま情報チャンネル搭載のポータルページ（入口）になっています。映画、テレビ、アニメ、製品情報の4種類のポータルページからお好みの情報を受信できます。

・おきにナビ/戻し再生により気に入ったシーンへジャンプ！
新機能“おきにナビ”機能により、タイトルごとのお好きな場所にいくつでもブックマークを設定できます。さらに、ブックマークされたシーンを静止画サムネイルで表示できますので、お気に入りのシーンを簡単に見つけてジャンプできます。ブックマークのデータはDVDビデオを交換した後も保存されます。また、戻し再生、スクロールバーのドラッグによりチャプターの細部へのジャンプも可能ですので、見たいシーンがすぐに探せます。

・dts（Digital Theater Systems）のサラウンド・サウンドに対応

参照 「PowerDVD 2000」のお問い合わせについては75ページをご覧ください。

◆DVDシリーズサポートソフト添付(Windows 98/95専用)

※本製品には、音楽CD，Photo CDは添付しておりません。

◇CD Player

1．音楽CDの再生
お手持ちの音楽CDを再生。通常再生はもちろん、トラックサーチ(曲の頭だし)やリピート再生も可能です。

2．オーディオキャプチャ機能
音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換します。

3．CD TEXT対応
CD TEXTディスクに記録されているアルバムタイトル，トラックタイトル，アーティスト名などの情報を表示することができ、さらにテキストデータとしても利用できます。

◇フォトCDビューア
Photo CDの再生ソフト。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト
CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

もくじ

はじめに iv
特長 vi

1 ご使用になる前に
箱の中を確認しよう 2
ユーザー登録をしよう 4
各部の名称・機能 6
動作環境を確認しよう 8

2 パソコンに取り付ける
取り付けの前に 12
取り付ける 14

3 取り付け後の設定をする
Windows 98/95で使用するには 26
Windows 2000で使用するには 27
Windows NT 4.0で使用するには 36
ディスクの挿入/取り出し 38

付録
DVDビデオを見るには 42
CD-ROMを活用するユーティリティ 43
困った時には 65
仕様 74

PowerDVD 2000のお問い合わせ 75
サポートセンターへのお問い合わせ 76
DVDシリーズサポートソフトのバージョンアップ 77
オプション品について 78
保証について 79
修理について 80

1
ご使用になる前に

ここでは本製品を取り付ける前に行うことを説明します。

箱の中を確認しよう 1

箱の中の内容物を確認します。

ユーザー登録をしよう 2

本製品のユーザー登録を行います。

各部の名称・機能 3

本製品の各部の名称・機能を説明します。

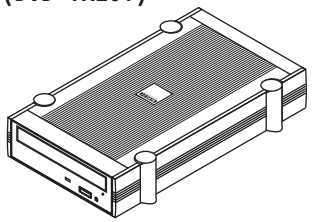
動作環境を確認しよう 4

本製品が動作する環境を説明します。

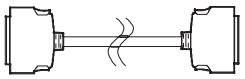
箱の中を確認しよう

箱の中には以下のものが入っています。□にチェックをつけながら内容物をご確認ください。不足しているものがありましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。箱・梱包材を捨てる際は各地方自治体の条例などにしたがってください。

☐ **DVD-ROM ドライブ：1台**
(DVD-TX10T)



☐ **SCSI ケーブル：1本**



D-sub ハーフピッチ 50 ピン⇔
D-sub ハーフピッチ 50 ピン
(50cm)

☐ **ハードウェアシリアルNO.**
シール：1枚

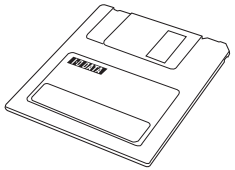


DVD-ROM ドライブの袋に入っています。

☑ **取扱説明書（本書）**

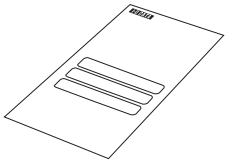


☐ **DVD シリーズサポートソフト：1枚**

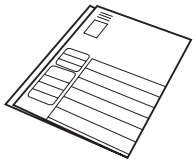


Windows98/95 専用

☐ **Ver シール：1枚**



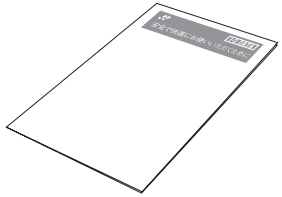
☐ **ユーザー登録カード：1枚**



☐ **ハードウェア保証書：1枚**



☐ **安全で快適に**
お使いいただくために：1冊



●サービス品（弊社ではサポート致しかねます。）

☐ **PowerDVD 2000**



DVD ビデオ再生ソフト
⇒ 42 ページ参照

注意

ケースに CD-Key が記述されていますので、ケースを大切に保管してください。

CD-ROM：1枚
PowerDVD 2000 クイックガイド：1冊

ユーザー登録をしよう

弊社(DVD-TX10T用)およびCyberLink社（PowerDVD 2000用）の2社のユーザー登録を行います。

①弊社ユーザー登録（DVD-TX10T用）

1 添付のVerシールを貼ってください

添付のVerシールをユーザー登録カード、サポートソフトの“Verシール”と書かれている欄、本書巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNO.シールを貼ってください

添付のハードウェアシリアルNo.シールをユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 オンライン登録する場合

http://www.iodata.co.jp/

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を入力して、ユーザー登録を行ってください。
※ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

ハガキで登録する場合



添付のユーザー登録カードに必要事項をご記入の上、弊社までご返送ください。

注意 **ユーザー登録の際、必要事項の入力もれ（ユーザー登録カードの場合は、必要事項の記入漏れやシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。**

②CyberLink社ユーザー登録（PowerDVD 2000用）

ご登録いただくと、PowerDVD新バージョンの優待ご案内、新機能や問題点の無償パッチの情報、その他お役に立つ各種情報のご案内などを随時お届けしておりますので、是非ご登録いただけます様お願いいたします。

●インターネットの環境をお持ちの場合
ユーザー登録ページURL

http://www.cli.co.jp/online/

●インターネット環境をお持ちでない場合
下記の必要事項をご記入いただきCyberLink社までFAXにてお送りください。

FAX：03-3662-8009

▼《必要事項》

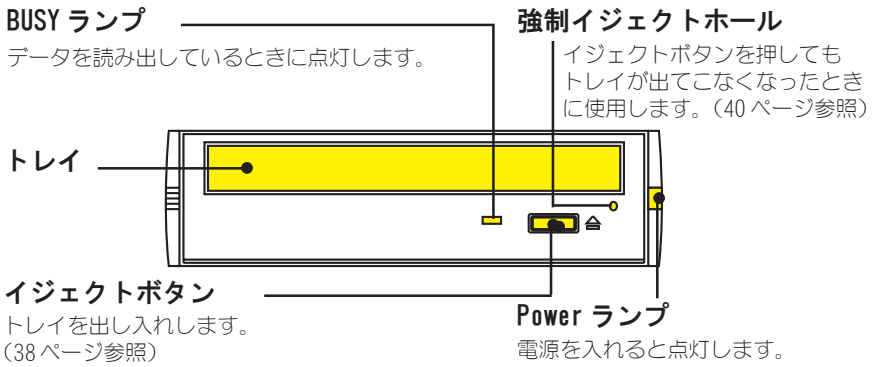
1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL番号
4. FAX番号
5. 住所
6. E-mailアドレス
7. 製品名およびソフトウェアのバージョン
8. CD-Key番号（CDケースに付いていた、英文字2文字+14桁からなる番号をご記入下さい）
9. お使いのパソコン環境
   - ・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - ・パソコン（CPU（例：PentiumⅢ500）およびメモリ容量）
   - ・使用している周辺機器（メーカー名、製品名）
   - ・DVDドライブ（アイ・オー・データ機器製、DVD-TX10T）

注意 **CyberLink社のユーザー登録で不明な点がある場合のみ以下の電話番号にお問い合わせください。**
TEL：03-3662-8076

各部の名称・機能

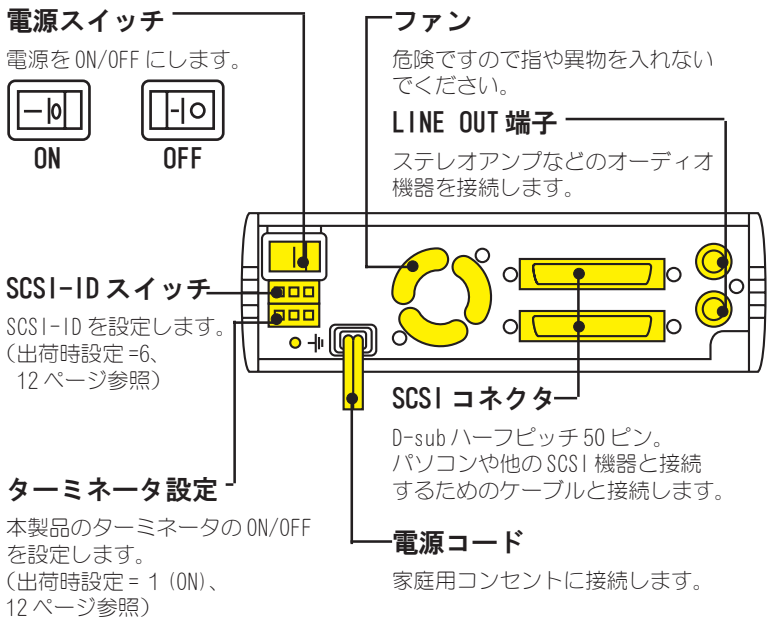
各部の名称・機能の確認を行います。

前面



注意 **BUSY ランプが点灯中は、絶対にパソコンをリセットしたりしないでください。故障の原因になったり、データが失われる恐れがあります。**

背面



注意 **パソコン本体の電源が ON の状態で、コネクタの抜き差しをするとショートし、本製品が破損する場合があります。電源を切ってからコネクタの抜き差しをしてください。**

動作環境を確認しよう

ここでは、本製品が動作する環境についての確認を行います。
本製品は以下の環境でご使用になれます。

注意 パソコンの機種により性能が十分に発揮できない場合があります。

対応機種	CPU Pentium100MHz 以上で、PCI バスを搭載した以下の機種 ● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン※1 ● NEC PC-9821 シリーズ※2

※1 弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。
※2 DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS **(日本語版のみ)**	Windows 98（Second Edition 含む） Windows 95（OSR2 以降） Windows 2000 Windows NT 4.0（Service Pack4 以降）

注意 DVD ビデオを再生するには、添付のソフト DVD プレーヤー「PowerDVD 2000」または、弊社製 DVD デコーダボード「GV-DVD2/PCI」が必要です。
(NEC PC-9821 シリーズでは、ご利用いただけません。)

対応 SCSI インターフェイス※1	**弊社製** SC-UPU2,SC-UWPCI※2 ,SC-UPCI シリーズ ,SC-PCI, SC-NBPCI シリーズ ,SC-NBUN,CBSC II シリーズ※3, CBSC-A,PCSC-F シリーズ※4 **Adaptec 社製** AHA-2940 シリーズ

※1 SCSI インターフェイスが対応していない OS では、本製品は使用できません。
※2 別途変換アダプタや SCSI ケーブルなどが必要になる場合があります。
※3 Windows NT 4.0 を使用している場合や、16bit モードで使用する場合は、DVD ビデオの再生はできません。
※4 DVD ビデオの再生はできません。

PowerDVD 2000 動作環境

添付 DVD ビデオ再生ソフト「PowerDVD 2000」を使用するには、さらに以下の条件が必要です。

対応機種	NEC PC98-NX シリーズ、DOS/V マシン (Windows 98/95 の場合) CPU Intel Pentium II 266MHz/Pentium III 以上 Celeron 300(A)MHz 以上 AMD K6-2 350MHz/Athlon プロセッサ 以上 (Windows 2000/NT 4.0 の場合)※ CPU Intel Pentium II 400MHz/Pentium III 以上 Celeron433MHz 以上 AMD Athlon プロセッサ 以上
対応 OS **(日本語版のみ)**	Windows 98(Second Edition 含む) Windows 95(OSR2 以降) Windows 2000 Windows NT 4.0(Service Pack4 以降)
その他	iPower!機能を使用する場合は、InternetExplorer4.0 以降が必要です。

※ Windows 98 環境並のスムーズな再生を行うには、Windows 98 環境に比べて、約 30% ほど高い CPU パワーが必要となります。

注意 PowerDVD 2000 のサポートは㈱サイバーリンクで行っております。
お問い合わせ先については 75 ページをご覧ください。
また、PowerDVD 2000 の使用方法については別冊の「PowerDVD 2000 クイックガイド」をご覧ください。

対応しているディスク

以下のディスクの読み込み（リード）のみ可能です。

ディスク	備考
DVD-ROM	―
DVD-R	3.95GB ディスク（Write At Once のみ）
DVD ビデオ	添付の「PowerDVD 2000」をご使用ください。 （【DVD ビデオを見るには】(42 ページ)参照）
CD-ROM	―
CD-R	―
CD-RW	―
ビデオ CD	添付の「PowerDVD 2000」をご使用ください。 （【DVD ビデオを見るには】(42 ページ)参照）
CD-DA（音楽 CD）	サポートソフトの「CD Player」をご使用ください。
Photo CD CD TEXT	（【CD-ROM を活用するユーティリティ】(43 ページ)参照）
CD Extra	―
CD-I	―

2
パソコンに取り付ける

ここでは本製品をパソコンに取り付けます。

取り付けの前に 1

本製品の SCSI-ID やターミネータの設定をします。

取り付ける 2

本製品をパソコンに取り付けます。

取り付けの前に

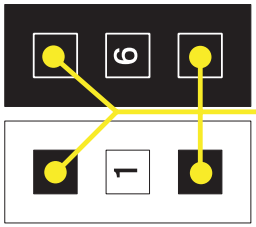
本製品のようなSCSI機器を使用する場合、SCSI-IDやターミネータの設定をする必要があります。

注意 設定を行う前に本製品の電源がOFFになっていることをご確認ください。

スイッチを設定する

①
SCSI-ID→

②
ターミネータ設定→



この部分を
ボールペンの先などで
押して設定します。

●本製品の他にSCSI機器を使用しない場合

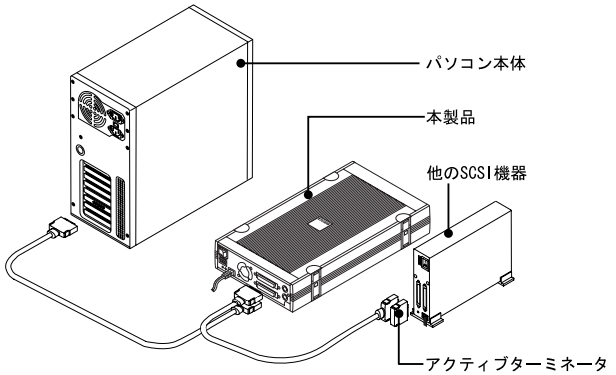
出荷時SCSI-ID=6、ターミネータ機能=1(ON)のままで、変更する必要はありません。

●他にSCSI機器を使用する場合

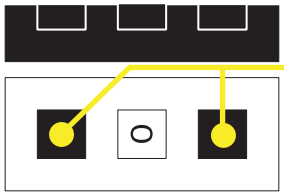
①他のSCSI機器と重複しないように本製品背面のSCSI-IDを変更してください。

注意 SCSI-ID=7はSCSIインターフェイスで使用していますので、「7」には設定しないでください。

②下図のように、本製品の後ろにSCSI機器を接続する場合は、本製品のターミネータ設定を0(=OFF)に変更し、新たに接続した末端のSCSI機器にアクティブターミネータを取り付けてください。



上図のように接続する場合は、右のようにスイッチを「0」に設定します。



この部分を
ボールペンの先などで
押して設定します。

▲ターミネータ設定 =OFF

②ターミネータ設定	説明
0	ターミネータ OFF
1	ターミネータ ON
2	設定しないでください
3	
4	
5	
6	
7	

注意 本製品のターミネータ機能をON (1) にした場合は、本製品に外付アクティブターミネータをとりつけないでください。故障の原因となります。

取り付ける

本製品をSCSIインターフェイスに取り付ける方法を説明します。

用意するもの

- **SCSIインターフェイス（ボードまたはPCカード）**
- **本製品添付のSCSIケーブル**
  （使用するSCSIインターフェイスがPCカードの場合は、対応しているSCSIケーブル）
- **本製品（DVD-TX10T）**
- **スピーカー、オーディオケーブル**　（本製品で音楽CDを聞く場合）

注意

本製品をパソコンに接続するには、まずSCSIインターフェイスのセットアップを行う必要があります。各SCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、セットアップの終了後、次ページへお進みください。

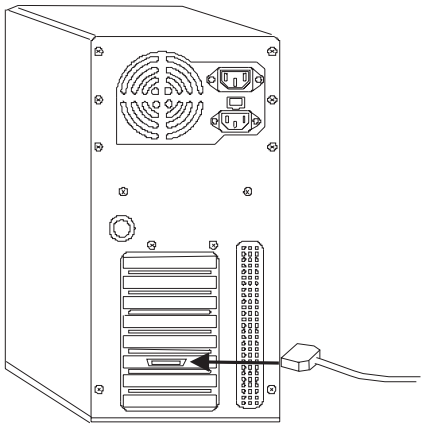
接続するSCSIインターフェイスの種類により、接続方法が異なります。必要な個所のみお読みください。

弊社製「SC-UPCIシリーズ」などのSCSIボードに取り付ける	次ページ参照
弊社製「CBSC II」などのSCSI PCカードに取り付ける	18ページ参照
デイジーチェーン接続他のSCSI機器に取り付ける	22ページ参照

SCSIボードに取り付ける

1 パソコンの周辺機器および本体の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

2 SCSIボードに添付のSCSIケーブルを接続します。
「カチッ」っという音がするまでまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。



注意

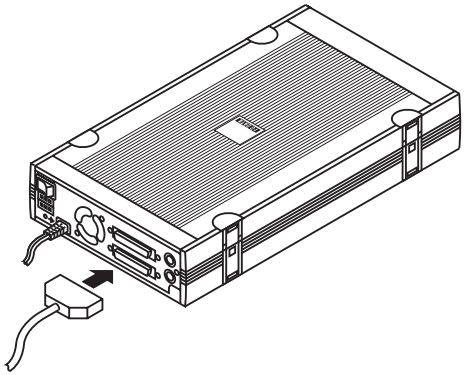
コネクタを差し込んだり、抜いたりするときは、コネクタのピンが折れないようにまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

参照

コネクタの形状が異なる場合、78ページをご覧になり、コネクタの形状に合ったケーブルをご購入ください。

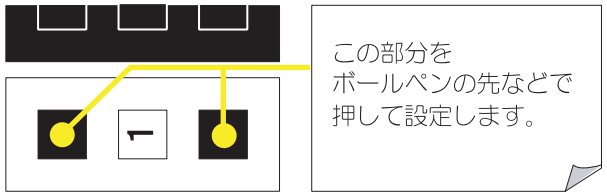
3 SCSI ケーブルのもう一方を本製品の SCSI コネクタに接続します。

手順２と同様に確実に接続してください。本製品のコネクタは、どちらに接続してもかまいません。



4 ターミネータ機能をONにします。

本製品背面のターミネータ機能を「１」（ON）にしてください。



▲ターミネータ機能

注意

・本製品にターミネータを接続することもできます。その場合はスイッチをOFF（0）に設定してください。
・本製品を含めて、末端に接続されている SCSI 機器には必ずターミネータを接続（ターミネータ機能を ON(1)に）してください。ターミネータを接続せずに使用すると、誤動作の原因となります。本製品を末端で使用しない場合はターミネータ機能を OFF(0)に設定してください。

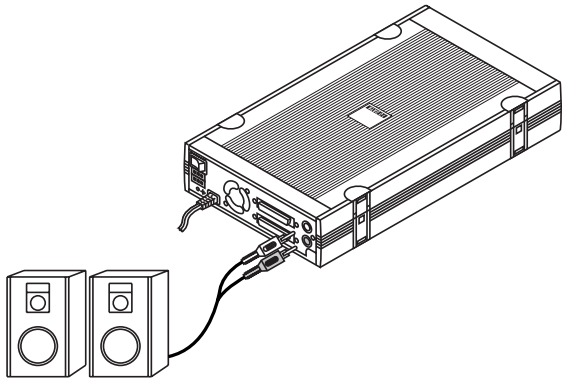
5 本製品で音楽CDを聴く場合は、スピーカーなどを接続します。

接続方法は以下の２種類あります。用途に応じて接続してください。

①本製品背面のLINE OUT端子をパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

②パソコンに装着したサウンドボード(SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。



6 本製品の電源コードをコンセントに接続します。

本製品（を含む周辺機器）の電源をONにしてから、パソコンの電源を入れてください。

以上で、本製品の取り付けは終了です。

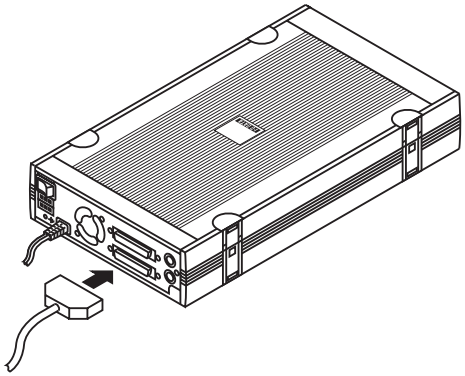
25 ページへお進みください。

SCSI PCカードに取り付ける

1 パソコンの周辺機器および本体の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

2 SCSI PCカードに添付のSCSIケーブルを本製品のコネクタに接続します。

「カチッ」っという音がするまでまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。本製品のコネクタは、どちらに接続してもかまいません。

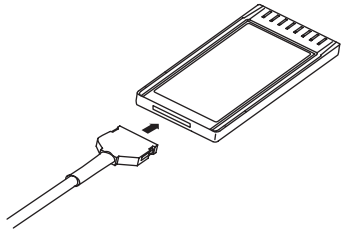


注意 コネクタを差し込んだり、抜いたりするときは、コネクタのピンが折れないようにまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

参照 コネクタの形状が異なる場合、78 ページをご覧になり、コネクタの形状に合ったケーブルをご購入ください。

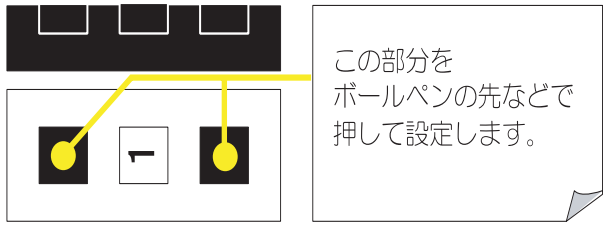
3 SCSI ケーブルの残り一方をPCカードに接続します。

手順２と同様に確実に接続してください。



4 ターミネータ機能をONにします。

本製品背面のターミネータ機能を「１」（ON）に設定してください。



▲ターミネータ機能

注意
- 本製品にターミネータを接続することもできます。その場合はスイッチをOFF（0）に設定してください。
- 本製品を含めて、末端に接続されているSCSI機器には必ずターミネータを接続（ターミネータ機能をON(1)に）してください。ターミネータを接続せずに使用すると、誤動作の原因となります。本製品を末端で使用しない場合はターミネータ機能をOFF(0)に設定してください。

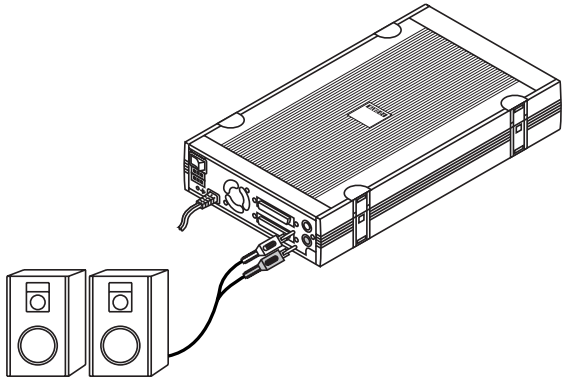
5 本製品で音楽CDを聴く場合は、スピーカーなどを接続します。

接続方法は以下の２種類あります。用途に応じて接続してください。

①本製品背面のLINE OUT端子をパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

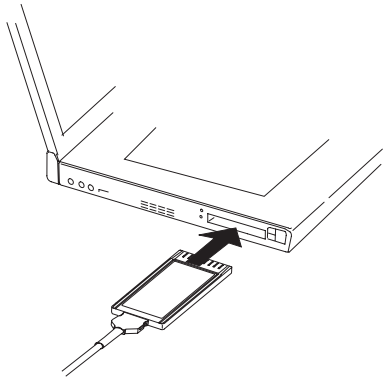
②パソコンに装着したサウンドボード(SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。



6 PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

PCカードをラベルが貼ってある面を上にして、パソコンのPCカードスロットへまっすぐに差し込みます。確実に差し込み、軽く引っ張っても抜けないことを確認してください。



7 本製品の電源コードをコンセントに接続します。

本製品（を含む周辺機器）の電源をONにしてから、パソコンの電源を入れてください。

以上で、本製品の取り付けは終了です。

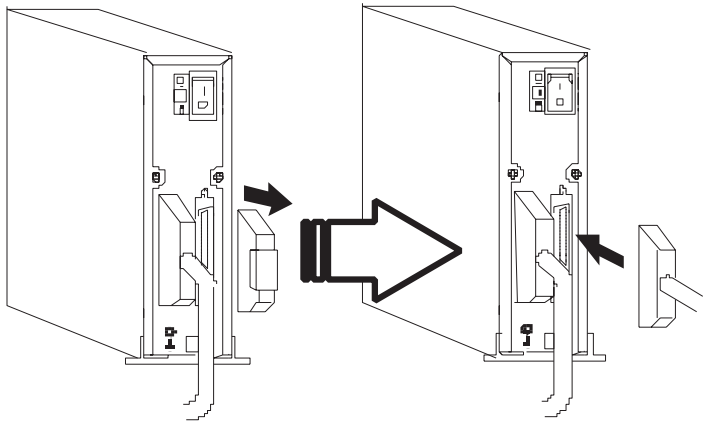
25ページへお進みください。

他のSCSI機器に接続する

1 パソコンの周辺機器および本体の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

2 すでに接続されているSCSI機器のターミネータを取り外し、添付のSCSIケーブルを接続します。

「カチッ」っという音がするまでまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。



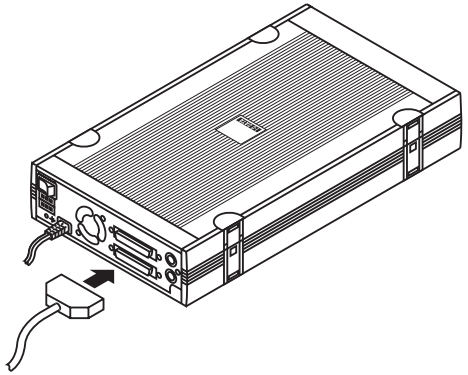
注意 コネクタを差し込んだり、抜いたりするときは、コネクタのピンが折れないようにまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

参照 コネクタの形状が異なる場合、78ページをご覧になり、コネクタの形状に合ったケーブルをご購入ください。

ヒント お使いのSCSI機器によってはターミネータ機能がスイッチなどで設定できるものがあります。その場合は、ターミネータ機能をOFFにしてください。詳しくはお使いのSCSI機器の取扱説明書をご覧ください。

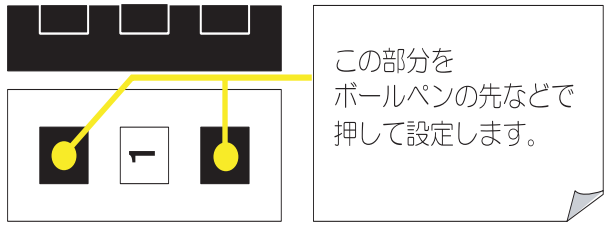
3 SCSIケーブルのもう一方を本製品のSCSIコネクタに接続します。

手順2と同様に確実に接続してください。本製品のコネクタは、どちらに接続してもかまいません。



4 ターミネータ機能をONにします。

本製品背面のターミネータ機能を「1」(ON)に設定してください。



▲ターミネータ機能

注意
- 本製品にターミネータを接続することもできます。その場合はスイッチをOFF（0）に設定してください。
- 本製品を含めて、末端に接続されているSCSI機器には必ずターミネータを接続（ターミネータ機能をON（1）に）してください。ターミネータを接続せずに使用すると、誤動作の原因となります。本製品を末端で使用しない場合はターミネータ機能をOFF(0)に設定してください。

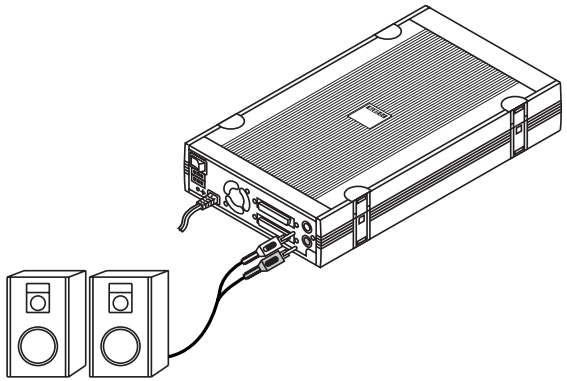
5 本製品で音楽CDを聴く場合は、スピーカーなどを接続します。

接続方法は以下の２種類あります。用途に応じて接続してください。

①本製品背面のLINE OUT端子をパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

②パソコンに装着したサウンドボード(SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。



6 本製品の電源コードをコンセントに接続します。

本製品（を含む周辺機器）の電源をONにしてから、パソコンの電源を入れてください。

以上で、本製品の取り付けは終了です。

25 ページへお進みください。

3
取り付け後の設定をする

ここでは本製品をパソコンに取り付け後の設定と基本操作について説明します。

Windows 98/95 で使用するには 1

Windows 98/95 をお使いの方のみご覧ください。

Windows 2000 で使用するには 2

Windows 2000 をお使いの方のみご覧ください。

Windows NT 4.0 で使用するには 3

Windows NT 4.0 をお使いの方のみご覧ください。

ディスクの挿入／取り出し 4

ディスクの挿入／取り出し方法について説明します。

Windows 98/95 で使用するには

本製品のパソコンへの取り付け後、次ページの確認が正常ならば、そのまま Windows 98/95 上で使用できます。
ディスクの挿入／取り出し方法を確認後、必要に応じて、PowerDVD 2000やサポートソフトをインストールして本製品をご活用ください。

Windows 98/95 上で本製品が正常に使用できることを確認し、「同期データ転送」の設定をします。また、必要ならば、デジタルオーディオの設定をします。 次ページ参照

▼

ディスクの挿入／取り出し方法を確認します。 38 ページ参照

▼

DVD ビデオを見たい場合
「Power DVD 2000」をご利用ください。 42 ページ参照

CD-ROM を活用したい場合
（サポートソフト）
- ●音楽 CD を聴きたい
- ●オーディオキャプチャを行いたい
- ● CD TEXT 情報を見たい
- ● Photo CD を見たい
- ● AutoRun 機能を使いたい

43 ページ参照

ヒント
サポートソフトをインストールしなくても本製品は使用できます。

取り付け後の確認

デスクトップ上の『マイコンピュータ』アイコンをダブルクリックして、以下の画面のようにアイコンが追加されたことを確認してください。
（本製品に任意の CD-ROM ディスクを挿入し、表示が変わったアイコンが本製品のアイコンです。アプリケーションが自動起動した場合は、アプリケーションを終了してご確認ください。）

表示例



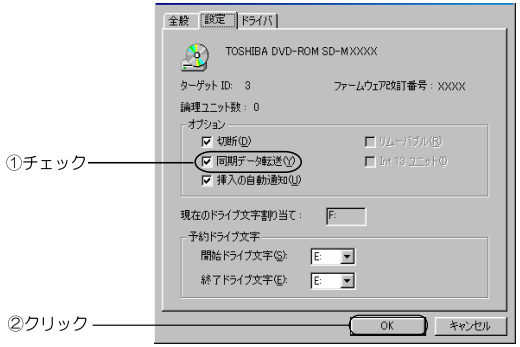
参照
アイコンが表示されない場合は → 66 ページをご覧ください。

取り付け後の設定

以下を参照して、本製品に「同期データ転送」の設定を行ってください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイスマネージャ]タブで、[CD-ROM]-[TOSHIBA DVD-ROM SD-MXXXX]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

2 [設定]タブの[オプション]で[同期データ転送]をチェックし、[OK]をクリックしてください。



以上で確認は終了です。38 ページへお進みください。

デジタルオーディオの設定(Windows 98のみ)

パソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応していればパソコン本体のスピーカーから音楽 CD を聞くこともできます。その際、オーディオケーブルおよびアンプ付きスピーカーは必要ありません。まずはお使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応しているか確認しましょう。

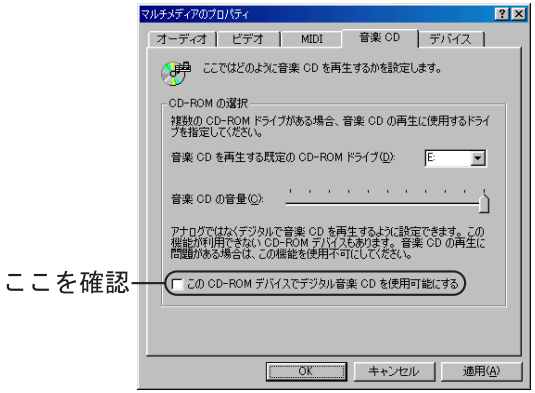
●デジタルオーディオ機能対応の確認

1 [マルチメディアのプロパティ]画面を表示させます。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。

2 [音楽CD]タブをクリックします。

3 「この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。

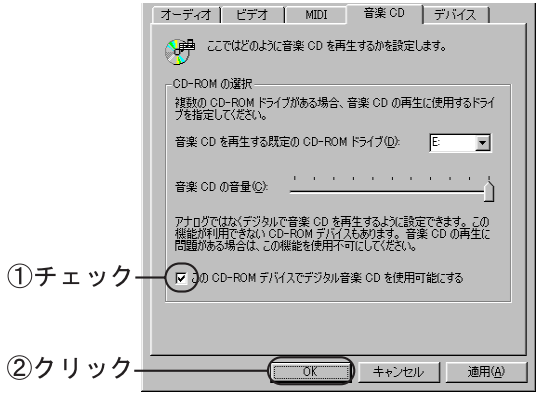


表示がない(選択できない)場合 → お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。音楽 CD はパソコンまたはアンプ内蔵のスピーカーでお楽しみください。

表示がある場合 → デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページをご覧ください。

●デジタルオーディオ機能の設定

「この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

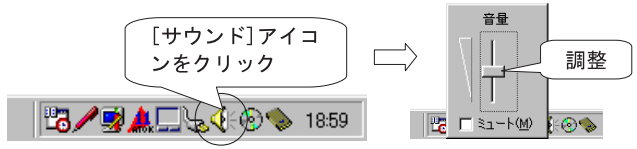


注意

・DVD ビデオを再生する場合は、「この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする」のチェックを外してください。
・デジタルオーディオ機能で音楽 CD を再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。
・デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、ドライブの LINE OUT 端子からは音声は出力されません。

ヒント

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調整してください。



Windows 2000 で使用するには

本製品のパソコンへの取り付け後、次ページの確認が正常ならば、そのまま Windows 2000 上で使用できます。
ディスクの挿入／取り出し方法を確認後、必要に応じて、PowerDVD 2000 をインストールし、本製品をご活用ください。

Windows 2000 上で本製品が正常に使用できることを確認します。また、必要ならば、デジタルオーディオの設定をします。 次ページ参照

▼

ディスクの挿入／取り出し方法を確認します。 38 ページ参照

▼

DVD ビデオを見たい場合
「PowerDVD 2000」をご利用ください。 42 ページ参照

注意

DVD シリーズサポートソフトは Windows 2000 では使用できません。
インストールしないでください。

取り付け後の確認

デスクトップ上の『マイコンピュータ』アイコンをダブルクリックして、以下の画面のようにアイコンが追加されたことを確認してください。

（本製品に任意の CD-ROM ディスクを挿入し、表示が変わったアイコンが本製品のアイコンです。アプリケーションが自動起動した場合は、アプリケーションを終了してご確認ください。）

表示例



追加されたアイコン
ドライブ名はご使用の環境により異なります。

参照 アイコンが表示されない場合は → 66 ページをご覧ください。

以上で確認は終了です。38 ページへお進みください。

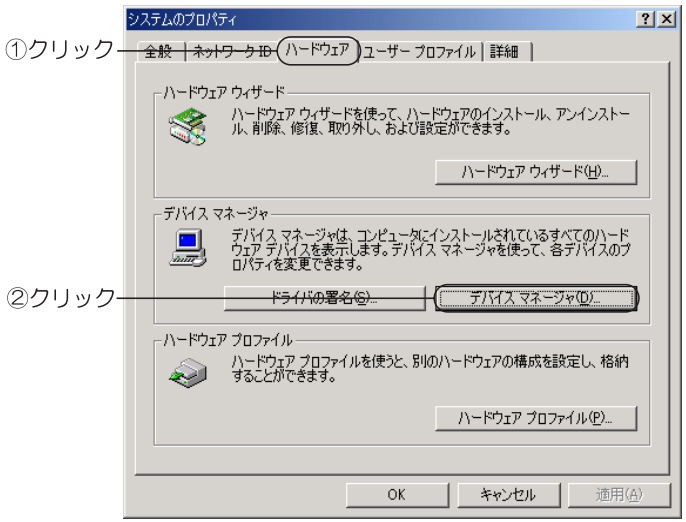
デジタルオーディオの設定

パソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応していればパソコン本体のスピーカーから音楽 CD を聞くこともできます。その際、オーディオケーブルおよびアンプ付きスピーカーは必要ありません。まずはお使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応しているか確認しましょう。

●デジタルオーディオ機能対応の確認

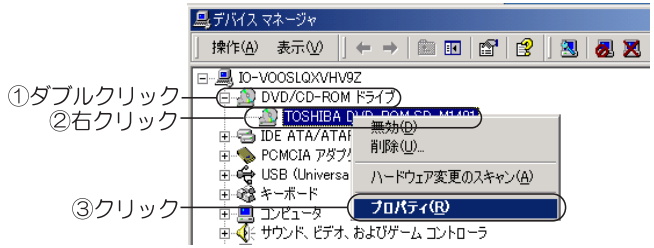
1 [デバイスマネージャ]画面を表示させます。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックし、[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

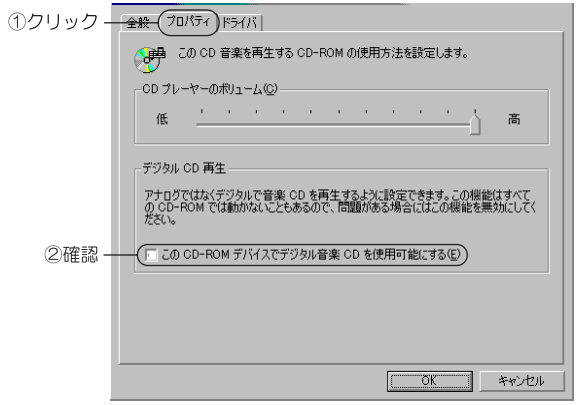


2 本製品のプロパティを開きます。

[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして、[TOSHIBA DVD-ROM SD-MXXXX]を右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。



3 [プロパティ]タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。

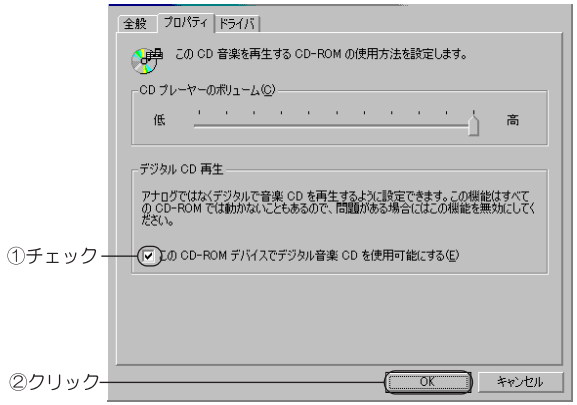


表示がない（選択できない）場合 → お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。音楽CDはパソコンまたはアンプ内蔵のスピーカーでお楽しみください。

表示がある場合 → デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページをご覧ください。

●デジタルオーディオ機能の設定

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されることがありますが、異常ではありません。[はい]ボタンをクリックしてください。

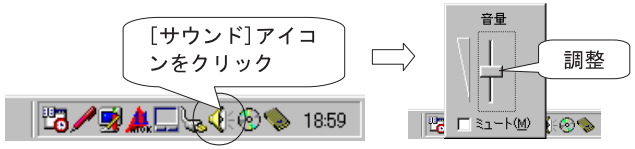


注意

- DVDビデオを再生する場合は、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックを外してください。
- デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。
- デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、ドライブのLINE OUT端子からは音声は出力されません。

ヒント

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調整してください。



Windows NT 4.0で使用するには

本製品のパソコンへの取り付け後、次ページの確認が正常ならば、そのまま Windows NT 4.0上で使用できます。
ディスクの挿入／取り出し方法を確認後、必要に応じて、PowerDVD 2000をインストールして本製品をご活用ください。

Windows NT 4.0上で本製品が正常に使用できることを確認します。 次ページ参照

▼

ディスクの挿入／取り出し方法を確認します。 38ページ参照

▼

DVDビデオを見たい場合
「PowerDVD 2000」をご利用ください。 42ページ参照

注意 DVDシリーズサポートソフトはWindows NT 4.0では使用できません。インストールしないでください。

取り付け後の確認

デスクトップ上の『マイコンピュータ』アイコンをダブルクリックして、以下の画面のようにアイコンが追加されたことを確認してください。
（本製品に任意のCD-ROMディスクを挿入し、表示が変わったアイコンが本製品のアイコンです。アプリケーションが自動起動した場合は、アプリケーションを終了してご確認ください。）

表示例



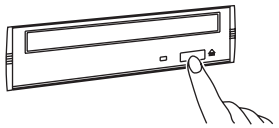
参照 アイコンが表示されない場合は → 66ページをご覧ください。

以上で確認は終了です。次ページへお進みください。

ディスクの挿入/取り出し

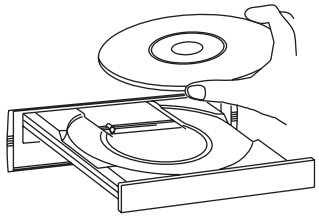
ディスクを挿入する

1 本製品前面のイジェクトボタンを押します。



2 ディスクを入れます。

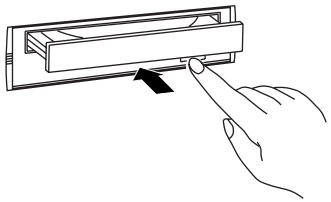
ディスクのラベル面を上にして、トレイの上に静かに置いてください。



注意

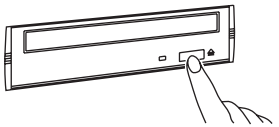
- ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。
- トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
- 12cmCD を使うときは大きい円形のくぼみに、8cmCD を使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両 CD を同時にトレイに乗せないでください。ただし、縦置きで使用する場合、8cmCD は使用できません。
- ディスクの記録面には触れないでください。

3 イジェクトボタンを押す、またはトレイを軽く押します。



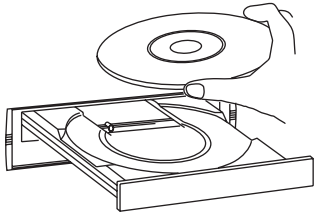
ディスクを取り出す

1 本製品前面のイジェクトボタンを押します。

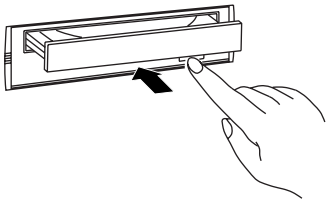


参照 ディスクが取り出せない場合は → 次ページをご覧ください。

2 ディスクをゆっくり取り出します。



3 イジェクトボタンを押す、またはトレイを軽く押してトレイを戻します。



注意

ディスクを取り出した後は、トレイは元に戻してください。
トレイが出ていると本製品内部にゴミやほこりが入り、ディスク読み込み時のエラーまたは故障の原因となります。

●ディスクが取り出せない場合の対処方法

注意

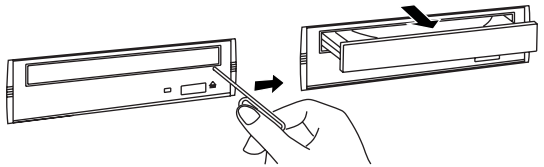
・以下の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。
・以下の操作は、パソコンの電源を切った後で行ってください。
・ドライブが傾いていないことを確認してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがドライブ内に落下する恐れがあります。）
・以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。

《必要なもの》
太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金１本。
大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。

《対処方法》

1 パソコンの電源を切り、本製品の電源を切って１分以上待ちます。

2 強制イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。



3 トレイが15㎜程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。ディスクを取り出した後、トレイを軽く押し戻してください。

付録

必要に応じてお読みください。

DVD ビデオを見るには 1

DVD ビデオを再生する方法を説明します。

CD-ROM を活用するユーティリティ 2

DVD シリーズサポートソフトについて説明します。

困った時には 3

本製品使用中に発生したトラブル対処について説明しています。

仕様 4

本製品の仕様です。

DVD ビデオを見るには

ここでは、DVD ビデオを再生する方法を説明します。

DVD ビデオを再生するには

DVD ビデオを鑑賞するには、添付の「PowerDVD 2000」、または弊社製「GV-DVD2/PCI」などの DVD デコーダが必要です。
本製品添付の「PowerDVD 2000」をご使用になる場合は、別冊の「PowerDVD 2000 クイックガイド」をご覧ください。

なお、「PowerDVD 2000」は NEC PC-9821 シリーズには対応しておりません。あらかじめご了承ください。

注意

《PowerDVD 2000 を使用する際のご注意》
本製品のリージョンコードは、出荷時状態で“2”に設定されています。
リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
使用方法の詳細については、PowerDVD 2000オンラインヘルプをご覧ください。

参照

「PowerDVD 2000」はサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。PowerDVD 2000 に関するお問い合わせについては、77 ページをご覧ください。PowerDVD 2000 には、[iPower!の製品情報ページ]、[readme]、[ヘルプファイル]などが用意されております。よくあるQ&Aなど、役に立つ最新のサポート情報をご覧いただけますので、是非ご一読ください。
また、PowerDVD 2000 の動作環境については、「PowerDVD 2000 クイックガイド」をご覧ください。

CD-ROM を活用するユーティリティ

ここでは、CD-ROM を活用するユーティリティについて説明します。
(Windows 98/95 のみ対応)

ユーティリティについて 44
本ユーティリティについて説明します。

実行用ディスクを作る 45
サポートソフトのバックアップを作成します。

ユーティリティのインストール 46
ユーティリティのインストール方法を説明します。

音楽 CD を聴くには(CD Player) 48
CD Player で音楽を聴く方法を説明します。

オーディオキャプチャを行うには(CD Player) 52
CD Player でオーディオキャプチャする方法を説明します。

CD TEXT 情報を表示するには(CD Player) 56
CD Player で CD TEXT 情報を表示する方法を説明します。

Photo CD を見るには(フォト CD ビューア) 57
フォト CD ビューアで Photo CD を見る方法を説明します。

AutoRun を設定するには (CD セレクト) 61
CD セレクトで AutoRun を設定する方法を説明します。

ユーティリティについて

本製品に添付されているサポートソフトのインストールを行うと、以下のユーティリティが使用できるようになります。

注意

以下のユーティリティは、Windows 98/95専用です。
Windows 2000, Windows NT 4.0ではご使用いただけません。
また、以下のユーティリティをインストールしなくても、本製品は使用できます。

◇CD Player

1．音楽CDの再生
お手持ちの音楽CDを再生。通常再生はもちろん、トラックサーチ（曲の頭出し）やリピート再生も可能です。

2．オーディオキャプチャ機能
音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換します。

3．CD TEXT対応
CD TEXTディスクに記録されているアルバムタイトル，トラックタイトル，アーティスト名などの情報を表示することができます。

◇フォトCDビューア

Photo CDの再生ソフト。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト

CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

以上のユーティリティを使用する場合は、次ページ以降を参照し、インストールを行ってください。

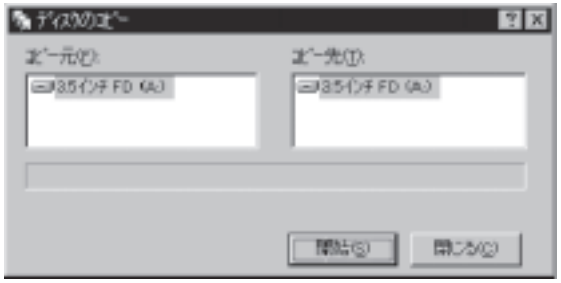
実行用ディスクを作る

本製品に添付されているサポートソフトは、必ず以下の手順でバックアップを取ってください。

1 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。

2 サポートソフトディスクを書き込み禁止にします。

3 [マイコンピュータ]→[3.5インチ FD]を右クリックし、[ディスクのコピー]を選択します。



4 メッセージにしたがって、バックアップします。
サポートソフトディスクと空きのフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップします。

注意

サポートソフトディスクを破損した場合の修理は有償です。必ずバックアップし、サポートソフトディスクは大切に保管してください。

ユーティリティのインストール

ユーティリティ（CD Player，フォトCDビューア，CDセレクト）をインストールします。

1 Windowsを起動します。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

3 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

4 [セットアップと削除]タブの[セットアップ]ボタンをクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

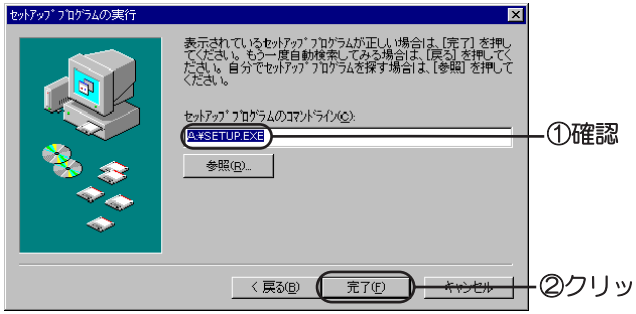


5 「セットアッププログラムのコマンドライン」で

A:¥SETUP.EXE

（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

と表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



6 後は、画面の指示に従って操作を進めます。

インストールが終了すると、ユーティリティが登録されます。

ヒント

《削除（アンインストール）方法》
インストールしたユーティリティ（CD Player，フォトCDビューア，CDセレクト）を使用しなくなった場合に行ってください。
① Windowsを起動します。
② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]からアンインストールしてください。

音楽CDを聴くには（CD Player）

音楽CDの再生、停止等の操作をWindows上で行います。

1 Windowsを起動し、本製品に音楽CDをセットします。

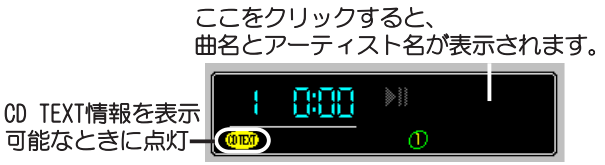
2 [スタート]→[プログラム]→[DVDシリーズサポートソフト]→[CD Player]をクリックします。

CD Playerを起動します。

（各ボタンの詳細については次ページ以降をご覧ください。）



パネル部詳細



番号	名称	機能
1	【終了】	CD Playerを終了します。
2	【アイコン化】	CD Playerをアイコン化します。
3	【イジェクト】	CDを取り出します。
4	【前トラック】	トラック（曲）を戻します。
5	【戻す】	10秒単位で再生ポイントを戻します。ボタンを押している間実行します。
6	【再生】	再生を開始します。
7	【進める】	10秒単位で再生ポイントを進めます。ボタンを押している間実行します。
8	【次トラック】	トラック（曲）を進めます。
9	【一時停止】	再生を一時停止したり一時停止を解除します。
10	【停止】	再生を停止します。
11	【CD-ROMドライブ切替】	CD-ROMドライブを切り替えます。 再生したいトラック番号を指定します。
12	【トラック選択】 1 ～ >10 、	>10 ボタンを押すと、トラック10以降を指定するモードになりますので、さらに2桁の数字を入力してください。 ボタンを押すと、トラック番号のリストが表示されますので、直接トラック番号を指定できます。

番号	名称	機能
13	【ランダム再生】 ORD	押すたびにランダム再生（パネルにRANDOMと表示）と通常再生を切り替えます。 [PRG]ボタンでプログラム設定している場合は、「通常再生」→「プログラム再生」→「ランダム再生」を切り替えます。
	【リピート】 RPT	押すたびに1曲リピート(パネルに「REPEAT 1」と表示)、全曲リピート(パネルに「REPEAT ALL」と表示)、リピート無を切り替えます。
	【イントロ再生】 INT	押すたびにイントロ再生（パネルに「INTRO」と表示）と通常再生を切り替えます。
	【表示変更】 DSP	押すたびに「1曲の経過時間」→「1曲の残り時間」→「全曲の経過時間」→「全曲の残り時間」の順でパネルに表示します。
	【リスト作成】 LST	曲名や歌手名を入力でき、独自の「タイトルリスト」を作成できます。また、曲順設定時に曲名が表示されるようになります。
	【曲順設定】 PRG	再生したい曲を選んだり、曲順を設定（プログラム）できます。
	【CD TEXT情報参照】 TXT	CD TEXT対応音楽CDのCD TEXT情報を参照する機能です。 (【CD TEXT情報を表示するには】(56ページ)参照)
	【オーディオキャプチャ機能】	音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換する機能です。 作成したWAVEファイルは、CD-R/CD-RWドライブを使用してオーディオCDを作成する際のソースデータとしても使用できます。【オーディオキャプチャを行うには】(52ページ)参照

注意

・「CD Player」の各機能は、CD-ROMドライブに音楽CDがセットされている場合のみ有効です。実行前に音楽CDがセットされていることをご確認ください。
・音楽CDを聴くには、ヘッドホンやスピーカーまたはサウンドボードへの接続が必要です。詳細については、16ページ以降を参照してください。
・CD-ROMドライブが2台以上接続されている場合は、「CD Player」を使用するドライブを指定する必要があります。1台でのみ再生可能です。
【方法】
[コントロールパネル]→[マルチメディア]の[音楽CD]でドライブを指定してください。
・オンラインヘルプについて
キーボードでの操作方法や詳しい操作のために、オンラインヘルプを用意しました。「CD Player」画面のボタン以外の箇所をダブルクリックするとタイトルバーが表示されるので、左上のマークをクリックしてメニューを表示し、「ヘルプ」を選んでください。

オーディオキャプチャを行うには(CD Player)

オーディオキャプチャとは、音楽CD(CD-DA)上のオーディオトラック(曲)をWAVEファイルに変換する機能です。『CD Player』でオーディオキャプチャを行うことができます。

注意

・オーディオキャプチャを実行するにあたって、下記の注意事項をお守りください。オーディオキャプチャ機能は著作権を持っているか、もしくは著作権者からコピーの許可を得ている材料を再生する手助けをするように設計されています。自分で著作権を持っていない場合、あるいは著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反することになり、刑罰の対象となる場合があります。
・オーディオキャプチャ機能は、本製品専用の機能です。他のドライブでは使用できません。他のドライブで使用すると動作に支障をきたす場合があります。
・WAVEファイルのフォーマットは以下の通りです。
　・サンプリングレート　44100Hz
　・サンプルサイズ　16Bit
　・チャネル数　2（ステレオ）

操作の流れ

1 本製品に音楽CDをセットします。

2 [スタート]→[プログラム]→[DVDシリーズサポートソフト]→[CD Player]をクリックします。

CD Playerを起動します。

3 ボタンをクリックしてオーディオキャプチャモードに入ります。

▼CD Player ウィンドウ



4 保存場所を指定します。



各ボタンの詳細については次ページ以降をご覧ください。

①ベースファイル名

WAVEファイル名を自動作成する際に、その元になる名前を指定します。半角英数字5文字以内で指定します。
例)ベースファイル名を‘track’とした場合でトラック1、トラック2を保存する場合、各ファイル名は‘track001’‘track002’となります。
ただし、「② ﾄﾗｯｸﾀｲﾄﾙを使用」をチェックした場合は、トラックタイトルが優先されます。

②トラックタイトルを使用

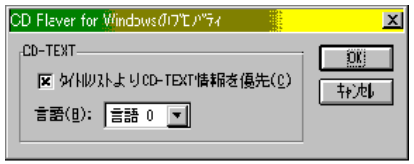


「保存するトラック」に表示されているタイトル名をWAVEファイル名にしたい場合にチェックします。
ファイル名は「トラック名.WAV」となります。
例：右図の「1.」をWAVEファイルにした場合は、「ﾄﾗｯｸ1.WAV」となります。
チェックした場合は、「ベースファイル名」は無視されます。
「保存するトラック」に表示されるタイトル名は以下のいずれかに設定できます。

1. 「CD TEXT情報のタイトル名」
2. LST ボタン(50ページ参照)で作成したタイトルリスト

・CD TEXT情報をタイトル名にできるのは、CD TEXT対応音楽CDのみです。
・「CD TEXT情報」および「タイトルリスト」が無い場合は、ベースファイル名がファイル名となります。

【上記1.2.の設定方法】
① 前ページの手順3の［CD Player］ウィンドウ上で右クリックし、［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ］をクリックします。
② 以下の画面が表示されます。



チェックボックスをON⇒CD TEXT情報を優先（初期設定）
チェックボックスのチェックをOFF⇒タイトルリストを優先

③保存するトラック

音楽CD上の変換したいトラックを、右図のようにクリックして指定します。トラックは複数まとめて指定できます。



④ディレクトリ

WAVEファイルの保存先のディレクトリ(フォルダ)を指定します。

⑤ドライブ

WAVEファイルの保存先のドライブを指定します。

⑥ドライブの空き容量

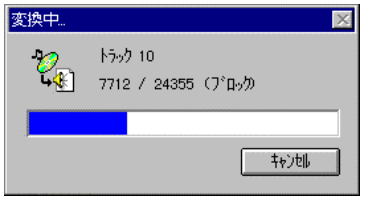
現在選択されているドライブの空き容量を表示します。

⑦必要な空き容量

現在選択されているトラックを保存するのに必要な空き容量の合計を表示します。

5 [OK]ボタンを押します。

オーディオトラックの変換を行います。変換中は、棒グラフで進行度を表示します。



注意

・オーディオトラック読み出しの最大速度は、ドライブの仕様によりCD-ROMのデータトラックを読み出すときの最大速度よりも低い場合があります。
・オーディオトラックの読み込み時には、ディスク表面の傷・汚れなどに対して非常に敏感になります。傷・汚れなどがあると、変換後のデータ（WAVEファイル）にノイズが入ることがあります。そのため、オーディオトラックの変換には傷のないディスクを使用し、表面の汚れ・埃などは取り除いてから変換を行ってください。

CD TEXT 情報を表示するには(CD Player)

CD TEXT 情報とは、CD TEXT 対応の音楽 CD※に記録されている曲名とアーティスト名等の情報です。『CD Player』で CD TEXT 情報を表示することができます。(この機能は CD TEXT ディスク再生時のみ使用可能です)

※CD TEXT 情報の入っているオーディオ CD には右のようなマークがついています。

操作の流れ

1 本製品に CD TEXT 対応音楽 CD をセットします。

2 [スタート]→[プログラム]→[DVD シリーズサポートソフト]→[CD Player]をクリックします。
CD Player を起動します。

3 TXT ボタンを押すと、「CD TEXT 情報の参照」ウィンドウが表示されます。



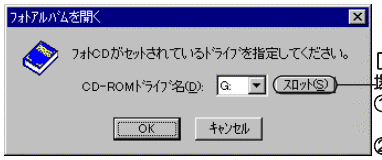
Photo CD を見るには(フォト CD ビューア)

Photo CD の Photo を見るには、「フォト CD ビューア」で行います。本製品には、Photo CD は添付されていません。別途ご購入のうえお楽しみください。

1 Windows 98/95 を起動し、本製品に Photo CD をセットします。

2 [スタート]→[プログラム]→[DVD シリーズサポートソフト]→[フォト CD ビューア]をクリックして、フォト CD ビューアを起動します。

3 「ファイル」→「フォトアルバムを開く」を選択し、DVD-ROM ドライブを選択します。
初期設定ドライブは、Photo CD がセットされているドライブ。どこにも Photo CD がない場合は、最初の DVD/CD-ROM ドライブが表示されます。



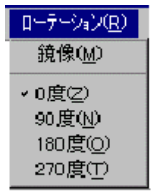
[スロット]ボタンは下記の条件が満たされる場合のみに使用できます。
①現在選択されているドライブが弊社CDCシリーズであること。
②シングルモードで動作していること

4 [OK]ボタンをクリックすると、CD-ROM 内の Photo が Windows 上に一覧表示されます。

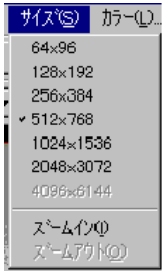
5 Photo をマウスでダブルクリックすると、ダブルクリックした Photo が拡大表示されます。

イメージ表示画面

「イメージ表示画面」（Photo CD イメージファイルを表示している状態）のメニュー項目を説明します。



【ローテーション】
現在アクティブなイメージを、各イメージ本来の表示状態から、左方向へ選択したそれぞれの角度だけ回転させて表示する。



【サイズ】
現在アクティブなイメージのサイズを指定する。
（デフォルトは、512 × 768）
利用可能なサイズの項目のみ選択可能になります。
（各イメージファイルによって異なります。）



【カラー】
左図のダイアログボックスを表示して、イメージの色に関する調整を行う。

フォトアルバム表示画面

フォトアルバムは、Photo CD に収録されている全てのイメージを縮小したもの（サムネイル）を一覧表示し、その中から好きなイメージを選択できます。



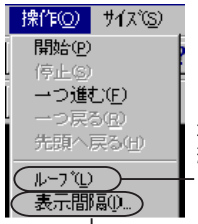
《操作方法》
表示したいイメージをカーソルキーで選択し[Enter]キーを押すか、表示したいイメージ上でダブルクリックすると、そのファイルを開いてイメージ表示ウィンドウに表示します。

スライドショー表示画面

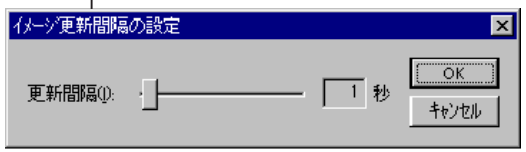
スライドショーは、Photo CD に収録されている全てのイメージを、１つ目から順に自動的に表示します。子ウィンドウ内に表示するモードと、全画面を占有して表示するフルスクリーンモードがあります。
（『ファイル』→『スライドショーを開く』で起動します。）

【操作】

スライドショーの開始・停止や、表示ポイントを移動させることができます。



最後のイメージを表示したときにスライドショーを終了するかどうかを設定します。チェックすると終了しません。（デフォルトはチェックされていません。）



イメージが表示されてから、次のイメージのロードを開始するまでの時間を設定します。（デフォルトは１秒）

タスクバーの他の機能（【サイズ】）は、「イメージ表示画面」を参照してください。

AutoRun を設定するには(CD セレクト)

「AutoRun」とは、CD-ROM ドライブに入っている CD を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動する機能です。
例えば音楽 CD を挿入すると、自動的に音楽 CD に関連付けられているアプリケーション(初期設定 PLAYCDEX.EXE)を起動し、音楽を再生させます。
「AutoRun」は「CD セレクト」で行います。

注意

CD-R/CD-RW ドライブで CD-R/CD-RW への書き込みを行う際には、必ず「CD セレクト」を終了させておいてください。終了しないと CD-R/CD-RW の作成に失敗する場合があります。
《終了方法》
タスクバー上の「CDセレクト」アイコンを右クリックし、「CDセレクトの終了」を選択してください。

CD セレクトを起動するには

[スタート]→[プログラム]→[DVD シリーズサポートソフト]→[CD セレクト]をクリックして起動します。

CD の確認および監視時間の設定

「CD セレクトのプロパティ」の「設定」タブで、以下の確認・設定を行うことができます。

●CD の種類
CD の種類をドライブごとに表示します。ここを見ることによって、各 CD-ROM ドライブに今何の CD が入っているかを確認することができます。

●監視時間
スライダーバーによって、監視時間の変更が可能です。

▼画面設定



注意

動作環境によっては、CDセレクトを起動している状態で動画(AVI/ビデオCDなど)の再生を行うと、若干コマ落ちする場合があります。そのような場合には、CDセレクトの「監視時間」を長くするか、CDセレクトを終了すると症状を軽減することができます。

起動アプリケーションを設定するには

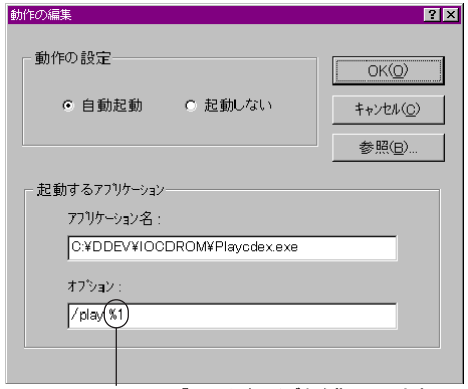
[スタート]→[プログラム]→[DVDシリーズサポートソフト]→[CDセレクト]をクリックし、[CDメディアタイプ]を選択します。

起動アプリケーション



各CD(音楽CD/PHOTO CD/ビデオCD/DVDビデオ)が挿入されたときに起動するアプリケーションを指定できます。同時にアプリケーションが起動しない設定も可能です。

設定方法



「登録されているタイプ」からCDのタイプを選択し、[編集]ボタンを押すと右の画面が表示されます。
起動したいアプリケーション名を[参照]ボタン等で、フルパスで設定してください。また、オプションを付けて起動したい場合は、オプション項目に入力してください。

「CD セレクト」が、CD メディアごとに起動させるアプリケーションの初期設定は次の通りです。

	アプリケーション名	オプション
(1) 音楽 CD	C:¥DDEV¥IOCDROM¥Playcdex.exe	/play %1
(2) PHOTO CD	C:¥DDEV¥IOCDROM¥Pcdv.exe	%1
(3) ビデオ CD	設定なし	設定なし
(4) DVD ビデオ	設定なし	設定なし

起動アプリケーションを設定するには

ビデオ CD 再生時にコマ落ちする場合、下記の方法で症状を軽減することができます。
「CD セレクトのプロパティ」の「その他」タブで、再生に使用していないドライブを選択し、[停止]ボタンをクリックしてください。次に[更新]または[OK]ボタンをクリックしてください。



クリック

停止ボタンをクリックすると、クリック可能になります。

注意

・「CD セレクト」は、自動挿入が ON に設定されている CD-ROM ドライブのみ対象とします。(Windows 98/95 では CD-ROM ドライブに対して自動挿入という機能が初期設定されています。これは、音楽 CD やデータ CD が CD-ROM ドライブに挿入された場合、音楽 CD なら CD プレーヤーが起動して自動的に 1 曲目から再生され、データ CD なら AutoRun が起動するという仕組みのことです。)
・DVD ビデオやビデオ CD を再生するには、添付の「PowerDVD 2000」をご使用ください。(44 ページ参照)

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

一般的なトラブル 66

●本製品がパソコンに認識されない
(Windows 上で CD-ROM アイコンが表示されない) 66
●ディスクが取り出せない 66
●パワーランプが点灯しない 67
●DVD ビデオが再生できない 67
●音が聞こえない 67
●AVI ファイル等の再生でコマ落ちが起きる 70

サポートソフト使用時のトラブル 71

●「CD Player」を起動した際に、「CD Audio デバイスはすでに使用されています」とエラーがでる 71
●「CD Player」のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定して
●キャプチャを行おうとすると、「トラックアドレスが取得できません」とエラーがでる 71
●フォト CD ビューアで「カタログシートを開く」を選択すると「OVERVIEW.PCD が見つかりません」というエラーが出る 73

参照

PowerDVD 2000 に関するトラブルは、PowerDVD 2000 CD-ROM 内の[iPower!の製品情報ページ]、[readme]、[ヘルプファイル]などをご覧ください。よくあるQ&Aなど、役に立つ最新のサポート情報をご覧いただけますので、是非ご一読ください。

一般的なトラブル

Q 本製品がパソコンに認識されない (Windows 上で CD-ROM アイコンが表示されない)

A OS 上での設定に問題があります。

マイコンピュータを開き、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてください。

A 本製品の電源が入っていない場合があります。

本製品のパワースイッチを ON にしてから、パソコンの電源を入れてください。

A 本製品と他の SCSI 機器の SCSI-ID が重複している場合があります。

本製品の SCSI-ID を他の SCSI 機器の SCSI-ID と重ならないように設定してください。

A SCSI インターフェイスおよび SCSI ケーブルが正しく設定・接続されていない場合があります。

SCSI インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、設定および接続を再度ご確認ください。また、SCSI ケーブルのピンが折れたり、曲がったりしていないかをご確認ください。

Q ディスクが取り出せない

A 使用中のアプリケーションでイジェクトを禁止している場合があります。

使用中のアプリケーションを終了してください。

A トレイに何かが引っ掛かっている場合があります。

40 ページを参照し、取り出してください。

A 本製品が故障している場合があります。

【修理について】をご覧ください。(80 ページ参照)

Q パワーランプが点灯しない

A 本製品の電源が入っていない場合があります。

本製品のパワースイッチを ON にしてから、パソコンの電源を入れてください。

A 電源コードが接続されていない場合があります。

電源コードがコンセントに接続されていることをご確認ください。

A 本製品が故障している場合があります。

【修理について】をご覧ください。(80 ページ参照)

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD プレーヤーがインストールされていません。

本製品添付の「PowerDVD 2000」(42 ページ参照) をインストールするか、弊社製「GV-DVD2/PCI」をご使用ください。

A リージョンコードが 2 または ALL 以外のディスクを使用しています。

本製品は、リージョンコード 2 に設定されていますので、リージョンコード 2 または ALL 以外のディスクは再生できません。詳細は別冊の「PowerDVD 2000 クイックガイド」をご覧ください。

Q 音が聞こえない

A 各機器を接続しているケーブルが確実に取り付けられていない場合があります。

スピーカーやその他、各ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

A ディスクが入っていません。

ディスクを入れてください。

A ディスクが汚れています。

柔らかい布で、内側から外側へ軽くふいてください。

A 音楽データが入っていないディスクを入れています。

音楽データが入っているディスクを使用してください。(ゲームなどのCDの場合は、サウンドボード側から音が出ている場合があります。接続や、サウンドボードの設定を確認してください。)

A データCD内の音声データファイルを再生するソフトウェアがインストールされていません。

データCD内の音声データファイルを再生するソフトウェアをインストールしてください。

A 音声ボリュームが「0」に設定されています。

本製品のオーディオコネクタとパソコン本体またはサウンドボードを添付のオーディオケーブルで接続します。(詳細は、【パソコンに取り付ける】11ページ以降をご覧ください。) 接続しているスピーカーのボリュームを調節してください。

①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。
②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、「表示するコントロール」で「ライン入力」にチェックを入れます。
③[OK]ボタンをクリックし、「ライン入力」の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。
④ボリュームを調節します。
⑤ウィンドウ右上の[x]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。

A ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。

ヘッドホンボリュームの音量を上げて(右に回す)みてください。

A ヘッドホン端子にプラグがしっかり接続されていません。

しっかり接続してください。

A ヘッドホンやスピーカなどが故障しています。

他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドホンが正常であるかを確認してください。

Q AVI ファイル等の再生でコマ落ちがおきる

A Windows 98/95 の先読みの設定が、本製品と合っていません。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から[システム]アイコンをダブルクリックします。

②[システムのプロパティ]画面の「パフォーマンス」ー「ファイルシステム」ー「CD-ROM」で先読みの設定を変えることで現象を回避できる場合があります。(設定の変更は、「先読みなし」→「3倍速ドライブ」→「倍速ドライブ」→「標準速ドライブ」の順に行ってみてください。)



A CD セレクトが起動しています。CD セレクトは、一定間隔で CD が挿入されていることを監視しています。そのため、AVI ファイルの再生に負担をかける場合があります。

CD セレクトの監視時間を長くするか、CD セレクトを終了させてください。(61 ページ参照)

サポートソフト使用時のトラブル

Q 「CD Player」を起動した際に「CD Audio デバイスはすでに使用されています」とエラーがでる

A すでに他の CD Audio プレイヤーが起動している場合があります。

他の CD Audio プレイヤーを終了し、弊社 CD Player をご使用ください。

Q 「CD Player」のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定してキャプチャを行おうとすると、「トラックアドレスが取得できません」とエラーがでる

A キャプチャを行おうとしているディスクが汚れています。

ディスクのクリーニングを行ってみてください。

A WINASPI.DLL ファイルがインストールされていません。

WINASPI.DLL は通常 Windows 98/95 をインストールした際に標準で以下のフォルダに組み込まれます。
「Windows 98/95 がインストールされているフォルダの SYSTEM フォルダ内」
無い場合は Windows 98/95 を再度インストールしてください。

A 本製品と他のCD-ROMドライブ（PDドライブ，CD-R/CD-RWドライブを含む）のドライブ番号が以下の順序で並んでいません。（CD-ROMドライブ以外は関係ありません。）

1. IDE プライマリ－マスタ
2. IDE プライマリ－スレーブ
3. IDE セカンダリ－マスタ
4. IDE セカンダリ－スレーブ
5. SCSI-ID順序

本製品や他のCD-ROMドライブを上記の順序でドライブ番号が並ぶように、デバイスマネージャのCD-ROMドライブのプロパティで予約設定してください。（以下の【ドライブ番号の予約】参照）

例）以下の３台を接続している場合は、ドライブ名は①，③，②の順に割り当てて（例：E,F,G）ください。

① PDドライブ（IDE プライマリ－スレーブ）
② 本製品（SCSI）
③ CD-RWドライブ（IDE セカンダリ－マスタ）

ドライブ番号の予約

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[デバイスマネージャ]で[CD-ROM]をダブルクリックし、各CD-ROMドライブを選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。[設定]タブの[予約ドライブ文字]でドライブ番号を予約してください。



Q **フォトCDビューアで「カタログシートを開く」を選択すると「OVERVIEW.PCDが見つかりません」というエラーが出る**

A 本製品でPhoto CDの認識が終了しています。

BUSYランプが消えていることを確認し、再度フォトCDビューアを操作してください。

A ディスク内にPhoto CDのデータが入っているが、カタログシートのデータが入っていません。

フォトCDビューアの「ファイル」→「開く」でご覧ください。

A Photo CDのディスクではありません。

Photo CDのディスクを入れてください。

仕様

インターフェイス仕様	Ultra SCSI/SCSI-2
トレイ方式	電動ディスクトレイ
データバッファサイズ	128KB
読み出し速度（最大）	13500KB/Sec（DVD-ROM） 6000KB/Sec（CD-ROM）
最大データ転送速度（理論値）	20MB/Sec
平均アクセスタイム	105msec（DVD-ROM） 85msec（CD-ROM）
対応フォーマット	DVD-ROM, DVD-R(3.95GB Write At Once のみ), DVD ビデオ, CD-ROM(Mode1, Mode2), CD-ROM XA, CD-R/RW, 音楽 CD, Photo CD, CD Extra, CD-I, CD TEXT, ビデオ CD, CD-G
アナログライン出力	0.83Vrms　47K Ω
電源仕様	AC 100V ± 10% 50/60Hz
消費電力	19.5W
動作温度	+5℃～+35℃ （パソコンの動作する温度範囲であること）
使用湿度範囲(%)	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	162(W) × 286(D) × 48(H)mm （突起物除く）
質量	約1.7kg

PowerDVD 2000 のお問い合わせ

PowerDVD 2000 には、[iPower!の製品情報ページ]、[readme]、[ヘルプファイル]などが用意されております。よくあるQ＆Aなど、役に立つ最新のサポート情報をご覧いただけますので、是非ご一読ください。また、お客様のご質問に、より迅速に対応する為にインターネットホームページ上にユーザーサポートページを設けております。ご不明な点につきましては、下記ユーザーサポートページをご覧ください。また、サポートページ掲載事例以外の現象などが発生した場合、e-mail を利用してのサポートを行なっておりますので、下記ユーザーサポートまでお問い合わせいただけます様お願いいたします。

ユーザーサポートページ URL　http://www.cli.co.jp/support/
ユーザーサポート　support@cli.co.jp

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入もしくはご確認いただき CyberLink 社まで FAX または TEL にてお問い合わせください。

FAX：03-3662-8009
TEL：03-3662-8076

▼《必要事項》

1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL 番号
4. FAX 番号
5. 住所
6. E-mail アドレス
7. 製品名およびソフトウェアのバージョン
8. CD-Key 番号（CD ケースに付いていた、英文字 2 文字 +14 桁からなる番号をご記入下さい）
9. お使いのＰＣ環境
   - OS 環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
   - ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
   - DVD ドライブ（例：I-O DATA 製、DVD-TX10T）

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して
E-mailをお送りください。
@nifty　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

■郵便

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町15街区7
ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「DVD-TX10T」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受け付け時間　9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVD-TX10T」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。あらかじめご了承ください。
「PowerDVD 2000」に関するお問い合わせは、前ページをご覧ください。

DVDシリーズサポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、サービス窓口からの郵送はユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート・ライブラリ」
@nifty　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ5(LIB5)

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町15街区7
ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVD-TX10T」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日(祝祭日を除く)

注意

- ●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- ●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

オプション品について

お使いになるSCSIインターフェイスのコネクタ形状が異なる場合は、下記の弊社製別売オプションを別途お買い求めください。

■別売オプションケーブル

型番	長さ	タイプ
A50-A50※1	75cm	D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ SCSIｹｰﾌﾞﾙ
A50-A50-M※1	50cm	同上
A50-A50-S※1	30cm	同上
A50-A50-SS※1	10cm	同上（フラットケーブルロック機能なし）
A50-H50※1	75cm	D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50 ピン SCSIｹｰﾌﾞﾙ
A50-H50-S※1	30cm	同上
F50-A50※1	75cm	ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾌﾙﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ SCSIｹｰﾌﾞﾙ
AD-SC/AH	—	変換アダプタ D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ｵｽ)
AD-SC/HA	—	変換アダプタ ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ｵｽ)
AD-SC/AW	—	変換アダプタ D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ68ﾋﾟﾝ(ｵｽ)
CBSC Ⅱ-A50-L※2 （CBSC Ⅱ, PCSC-F 専用ケーブル）	75cm	専用25ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ （SCSI機器の使用は本製品1台のみとなります。 複数台のSCSI機器を使用する場合は、有償にて専用SCSIケーブルを提供させていただきますので、 弊社サービス窓口（TEL：076-260-3663）までお問い合わせください。）

※1 ハイインピーダンスタイプ
※2 デイジーチェーン接続にはご使用いただけません。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。
・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。
・本製品のリージョンコード（地域コード）を変更した場合。
（リージョンコード2, ALL以外のDVDビデオを使用する場合）

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいますようお願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は，発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源 ON で挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

  住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 15 街区 7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第 2 ビル
  株式会社アイ・オー・データ機器
  「DVD-TX10T」 修理係　宛

  ※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

  受付窓口　「DVD-TX10T」サービス窓口
  電話番号　金沢　076-260-3663
  受付時間　9:30 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00
  月～金曜日（祝祭日を除く）

  ※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。